

**フロアの職員全体で
口腔ケアに対する
意識改善を行う**

特養3階

目的

- ▶ 様々な介助量が増加する中で、安全に効率的に、口腔ケアを行うことは高齢者の口腔衛生環境を守り誤嚥性肺炎の予防につながると考えられる。
- ▶ 現在、3Fでは毎食後の口腔ケアが難しい状況である。口腔ケアを効率的に実施するためには、介護職員が口腔ケアのアセスメントをすることを意識し、ケアの優先順位を考え実施することが重要である。本取り組みでは、専門職である歯科衛生士の助言を受け効率的に口腔ケアを行うことで業務改善につなげ、利用者の口腔衛生を維持すると共に、介護職員のスキルアップにつなげることを目的とする。

3階の現在の状況

- ▶ **★日々の業務に追われ、口腔ケアの時間の確保が難しい。**
- ▶ **★口腔ケアに対する知識・技術不足。**

取り組みの流れ

1. 口腔ケア時に観察する点について考える



- ▶ 2. 残存歯がある方の口腔ケア時にどこを意識して磨けばよいか



- ▶ 3. 長期利用者を対象に口腔ケア時に意識する点を考え、その内容について歯科衛生士さんに助言を頂く。



- ▶ 4. 介護職員の考える口腔ケア時に意識する点についての話し合いの場を作る。

口腔アセスメントのポイント

介護職員の視点

歯ぐきを優しくこすり
汚れをとる
歯ブラシやスポンジで

歯と歯ぐきの間に挟まっ
ている食物残渣や歯の間
の汚れをきれいにする

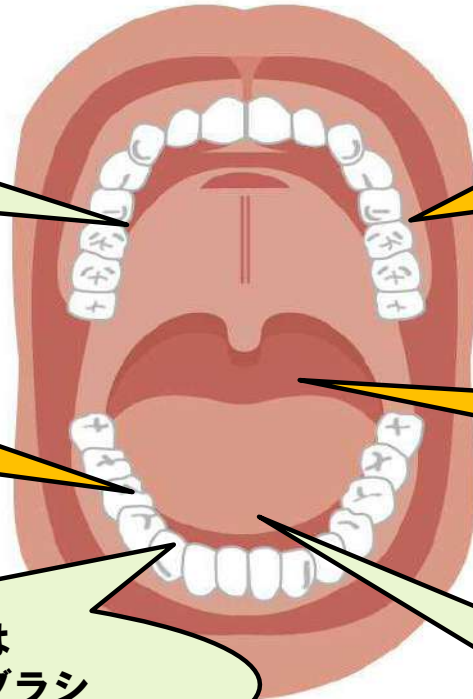
義歯をはめている方は
歯ブラシで軽く磨きスポンジブラシ
でよく汚れを取る

歯の表面に付着している汚れ
を歯ブラシで磨く
歯ブラシに付着した汚れは流
水で汚れを落として再度使用
する

舌を置くから手前へ歯ブラシ
やスポンジブラシを使って舌
の表面の白い汚れをきれい
にする

つばや痰が固まって
いないか

上記の内容を
歯科衛生士に確認
を依頼



口腔アセスメントのポイント

歯科衛生士の視点

口腔前提に食渣残って
いませんか??

唇は乾燥していませんか?
唇を閉じることができますか?

口蓋に痰や、残渣
物が
残っていません
か?

口角は切れてい
ませんか?

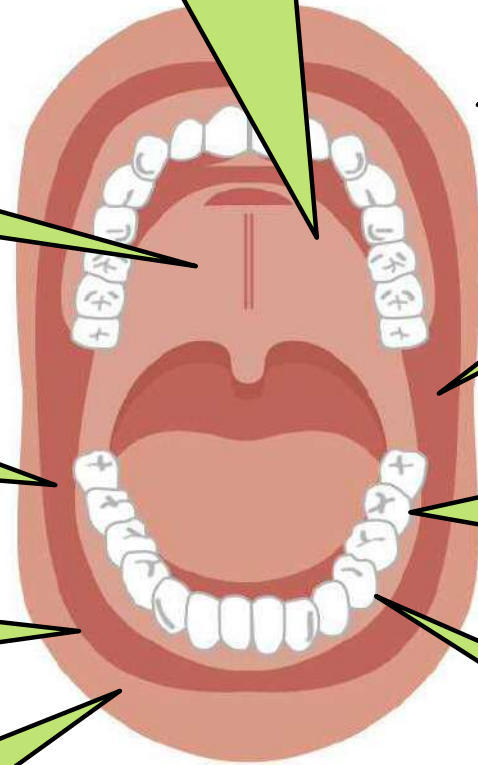
歯や義歯に残渣物
残っていません
か?

むし歯・欠けている歯
プラークの付着は?
グラグラしていませんか?
奥歯は噛み合っています
か?

粘膜に傷や口内炎あり
ませんか?

歯肉に腫れ、出血ありま
せんか?

舌苔の付着
傷等はありません
か?



口腔ケア時の観察する点

1. 口腔内に残渣物や痰の付着はしていないか
2. 舌の表面に汚れの付着はあるか
3. 口腔内や唇などに傷などはないのか
4. むし歯・欠けている歯はないのか歯の表面にプラークの付着はないのか

上記の事を踏まえて
取り組みを行う

残存歯のある方の口腔ケア について

▶ W・H様



要介護3 81歳

口腔内の状態

- ・義歯無し
- ・残存歯が多い

口腔機能

- ・ブクブクうがい可能

動作

- ・全介助

歯垢染色剤を使い、磨き残しの多い所を確認する。

歯垢染色剤



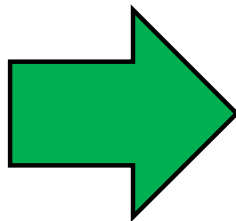
歯垢染色剤とは・・・

現在残っている磨き残し箇所がはっきりと分かること。歯垢をこまかく取り除けるようになるため、虫歯や歯周病の予防ができます。そしてもう一つ、自分の磨き癖が分かるというメリットがあります。

残存歯がある場合、残存歯のどこを意識して磨けばよいのか？



口腔ケア前



口腔ケア後

磨けていない原因

歯科衛生士の助言①

- ▶ **プラークが付着しやすい箇所の理解不足**
 - ・歯と歯の間 (歯間部)
 - ・歯と歯茎の境目
- ▶ **介助者の歯ブラシの動かし方**
 - ・細かく動かす
 - ・2本ずつ磨く意識で

3階の長期の利用者の口腔ケアを行う 中での意識する箇所

歯科衛生士からの助言

全介助で口腔ケアを行う方の場合

口腔内の汚れの除去も意識しますが利用者様に介護職員に介助してもらうことに慣れて頂くことも重要です。

上義歯があり口腔ケアは自立の方の場合

ご自分で出来る義歯の着脱やうがい動作、歯磨き動作など機能維持の確認を行う。自立の方でも最後に介護職員がブラークが付着していないかや舌ケアなどを行う。

口腔内に残渣物がたまりやすく下歯が人工歯の方の場合

口腔ケアを行う際に奥歯のあたりに残渣物が残りやすいので意識して頂きたい、下顎は人工歯は残渣物が多く、残りやすいため注意が必要。

歯科衛生士②の助言

口腔ケア動作も大事

・義歯の有無

ある⇒おおよその形、金具のかかる歯、着脱は自立？

・うがいは出来ますか？

できない⇒清拭は何ですか？ スポンジブラシ？ 口腔ケアウエットィ？

できる⇒ブクブクの頬の動かし方、回数、水の吐き出し方

できた⇒吐き出した後の口腔内はきれいですか？ 吐き出した食渣の状態は？

・歯磨き動作は？

ある⇒歯ブラシの当て方、力加減、磨いている時間

口腔ケアの考え方

歯科衛生士の助言③

- **口腔衛生管理…きれいに爽快感**
- **機能維持…うがいの動きどう??**
- **双方が慣れる**
介助される(顔に触れられる)ことに慣れて
いただく

職員に口腔ケア時に意識する点について
歯科衛生士の助言と合わせて説明
しました。

▶ 説明を行った際に日々口腔ケアを行う中で意識している
ことなど聞いてみたところこのような意見がありました

舌に汚れの付着が多く
あるので舌磨きを必ず
行っています。

奥歯の方などに汚れが
たまりやすいので意識
して磨いています。

歯茎よりも歯の根元に
残渣物がたまりやすい
方は残渣物をかきだす
様にブラシを使う

食物残渣が残りやすい方
の口腔ケア時は一度うが
いやブラシなどで残渣物
を綺麗にしてから行う

職員の意見も含め何人かのご利用者様の口腔ケア時のポイントをまとめた資料を制作しました。

資料の一部です

- ▶ 口腔ケアを行う上での各利用者の意識する点まとめ
- ▶ W・H様の口腔ケア時のポイント
 - ▶ 食物残渣が残りやすい為、口腔内に残渣物が残っていないか確認してください。プラークの付着や汚れ等が歯茎の境目や歯茎の根元などに残りやすい為、ブラシをかける時に意識して磨いて頂きたいです。ブクブクうがいの機能維持の為、なるべく行うようにして頂きたいです。
- ▶ M・S様の口腔ケア時のポイント
- ▶ 残存歯にプラークなどの付着がある為、歯の表面や歯ぐきを磨く際に意識して頂きたい。スポンジブラシでの舌磨きも重要。全介助で口腔ケアを行う為、本人が介助に慣れて頂くことも大切です。本人に伝わるような声掛けや口腔内に触れる際に本人に苦のないような介助を行う。

資料を3階職員に見て頂き歯科衛生士の助言も含め口腔ケア時のポイントを周知しました。

まとめ

- ▶ ・今回の取り組みを行った中で歯科衛生士の助言から自分が口腔ケアを行う際の意識が向上
- ▶ ・対象で行った利用者の口腔ケア時などは助言を受けた箇所を意識して磨くことが出来、口腔ケアを速やかに行うことが出来た。

今後の課題

今回は実施期間の関係から行うことが出来ませんでした。が職員の口腔ケアのポイントを把握している事で口腔ケアが円滑に進み、業務改善になることを目標に今後も口腔ケア時の意識する点などは考えていきたいと思っております。